続いていた大火災がよう | 立たされ、市街地の多く | さがわかる。 稿では、何故このような | あおられてまた火の手が | 23兆4千億円)以上、死 | 災保険会社が契約を破棄 | バダ山脈とモハーヴェ砂 | になく雨が多く、ロサン 象により山火事が拡大し やく鎮圧された。 異常気 | を焼失した。 また、 山林 は被害が出たものだ。本 │ たように見えても強風に 公被害となったのか考え │上がり、時に隣接する市 │者 29人、行方不 明者 14 │して撤退を始めていたと │ 漠を超えることによって │ゼルス中心部の年間降水 │ 引き起こし た理由とし │ 災した富裕市民たちは、 で市街地を飲み込み大き一することが難しく、消え ロサンゼルスで年初来 | 消防力はたちまち劣勢に | ゼルス大火の被害の大き | 火災の部分は完全に消火 | の合計被害は、焼失区域

し、大規模な市街地火災 | 人。・・などとされてい り、強風にあおられて住 ルス郡アルタデナのイー 7日夕方には、 ロサンゼ 海に向かって吹き下ろす 宅地パシフィック・パリ ッドヒルズのあるサンセ 猛烈な強風で、全焼地域 **宅地に拡大した。山から** は間もなく海まで到達。 のベンチュラ郡でも新

|面積160平方書以上、 1月7日から31日まで いる。

街地に燃え移るなどした

## 火災は、1月7日、口

サンゼルス西部の高級住 だった。

000棟以上、死者は16 |約57平方4、被災建物7 |は約63平方サロ)、被災建 のは、パリセーズ火災と |数は少なくとも8人。イ 96平方吉(山手線の内側 ーズ火災の焼失区域は約 ートン火災の焼失区域は イートン火災で、パリセ 物5300棟以上、死者 特に被害が大きかった

ット地区のほか、ハース | 6件の市街地大火(焼損 -地区やケネス地区でも | 床面積3万3千㎡以上の 強風下、相次ぐ火災に一考えると、今回のロサン一だけでも、今回の火災の一制度の仕組みそのものが一気象が普通になり大規模一どでこのことに気づいた一餌食になっている。 火災)が発生している が、その合計焼損棟数が 4420棟だったことを | の大半が焼失した。それ | ることもあり、火災保険 阪神・淡路大震災では

るだろうと想像できる。 支払い保険料が巨額にな | 見直される可能性もあり | な山火事も頻発してい | 全米省庁合同火災センタ

達するのではないか、と 険損失額は最大3百億ド | カリフォルニアの過去の ル (約4兆7千億円) に 山火事 今回の火災全体では、保

事からの延焼リスクが高 カリフォルニアは山火

カリフォルニアは、春

が出されたのは1月31日 | 火災は、大規模な市街地 | 度が整備されており、結 | からしばしば山火事が発 | いた。このため、ロサン | と指摘されている。一つ ため、消防から鎮圧宣言 | どとされている。今回の | ェア」という公的保険制 | 風)」が吹き込むため、昔 | 平均値の2倍にも達して | 為的な要因が多数あった | クを適切に管理しなかっ | 地震に伴う大火を契機と |人、避難者20万人以上な|いうことだが、別途「フ|乾燥し高温になった強|量は、1877年以降の|て、異常気象以外にも、人|消火に不可欠な貯水タン|6年のサンフランシスコ|るという考え方で、似て |被害総額約15百億が(約 | い(後述)ため、近年、火 |吹き出す東風がシェラネ | カリフォルニアでは例年 被害、煙による健康被害 | 局、焼失家屋については | 生し、時に人家に延焼す | ゼルス近辺では、22年か | は、ロサンゼルス市長が | を提訴した。あれやこれ | され、火災に強い2×4 | こにいわゆる「サンタア | うだ。 ナ風(大陸の高気圧から 高温になる気候だが、そ | 事情はもう少し複雑なよ | だということだろう。 実は、22年と23年は南

る。今回の火災もその一 環として、「異常気象で高

山火事が大規模な市街

一起を行うほどだったとい

いう専門家の試算も出て | から秋にかけて乾燥して | たのだが、調べて見ると | 気象を引き起こした結果 | ためだろう」と考えてい | 雨と乾燥の両極端の異常 タアナ風がひどくなった | 火災は、地球温暖化が降 人為的要因

ロサンゼルスの大火を考える

| 0万ドル(約4億9千万 | もある。異常気象で世界 | 火災保険だ。パシフィッ | 度が存続できるかも懸念 モニカ海岸のすぐ西に位 |宅の平均市場価格は31|か、という専門家の試算 | たことで、気になるのが | としており、「フェア」 制 も称されている。 置する高級住宅地で、住 | 損失を被ったのではない 火災保険はどうなる? ク・パリセーズは、サンタ | されている。 日本国内の | 損保3社が9百億円超の

円)と言われているが、そ | 中で山火事が頻発してい | 今回の火災と異常気象 | などから「アメリカ史上 | ほぼ全数、避難から再建 | る大火災を引き起こして | ら24年夏にかけて植物の | 24年6月に消防局の予算 | **建築構造と建築規制が大** 最大の破壊的な火災」と | 期間の住居費まで含めて | 来た。このため、最近だ | 生育が著しく良く、植生 | を17百万¼ (約27億円) 多数の高級住宅が燃え | の再保険会社は戦々恐々 | が発生しており、山林に | (通常は秋以降)に雨が |スクを引き受ける世界中 | 月などに大規模な山火事 | が、24年は一転して雨期 | な業務を維持できなくな いる。このため、最終リ | 7月、20年8月、21年7 | ころもあった。ところ | 補償されることになって | けでも、17年12月、18年 | が平均の30%近く多いと | も削減したことである。 ほどだ。 で、記憶が絡み合って区

|別がつかなくなっている|が乾ききって燃料倉庫の | 隣接する市街地にも延焼 | 降らず、5月から25年1 | この種の火災が起こるの | した天候が続いた。この | 道された。毎年のように | 7年以降で2番目に乾燥 | メディアにぶちまけた。 |して、日本でも大きく報 | 月までの期間は、187 ため、過剰繁茂した植物

たという話を、消火活動 り、消火活動に支障が出 このため、消防署の主要

|温・乾燥化が進み、サン|う。今回の前例のない大|たとか、消火栓の給水能 | ーが、24年7月に注意喚 | 令のメッセージが誤って | 石膏ボードでパネルを造 | 離に応じて外装材料の不 |地火災になって大被害を| ィック・パリセーズで被 中の消防局の幹部が地元 | んどは、高級住宅も含め ロサンゼルス市長(民主 | ×4) 工法による木造住 力が山火事を想定してい

最近、世界各地で異常 | なっていた。衛星写真な | プ大統領の口撃の格好の | 推測している。2×4工 | 市街地大火を防ごうとい |

法というのは、断面が2一うものである。外部から一いと考えている。

| 点は是非調べて来てほし 遣されると思うが、この |本からも調査チームが派

めることにより、隣棟へ

延焼を押さえて外部に拡

学的な検証が行われ、日

一物内部で発生した火災の

| 合の防火の考え方は、建 | いうのが私の考えであ

って極めて危険な状況と | 民の怒りが集中。トラン ようになり、山火事にと | もあり、被災した富裕市 | なってしまった大きな理 | 党)は、出火当日に海外 | 宅である。私は、このこ |出張中で留守だったこと|とが、今回市街地大火と|大するのを防ぐ性能を高 リカの戸建て住宅のほと は、燃えた建物が木造だ | 由の一つではないか、と | の延焼を防ぎ、ひいては 一て、ツーバイフォー(2 物の写真からわかるの たとして、市水道電力局 しなかったため、すぐに枯 渇したなどという話も出 きいのではないか 題視されており、パシフ ている。一部の貯水タン クが修理に長期間かかっ て使えなかったことも問 今回の火災で燃えた建

|ということだ。実は、アメ | で日本の建築基準法にも | 送信されて避難が混乱し | って組み立てていく工法 後の政局にも影響しそう | 工法は耐震性も高く、熟 やで、今回の火災は、今 | 工法が開発された。この 他にも、消防の避難命 | 珍×4500角材と合板や | の延焼は、 隣棟からの距 など)。このため、190 取り入れられた。 は、枠組壁工法という名 |普及した。1974年に||うな猛烈な火炎や火の粉 を含めた北米大陸全体に るという優れた特性があ して、従来の工法が改良 |火、72年のボストン大火 | 部分の外壁・軒裏及び開 1年・74年のシカゴ大 では延焼のおそれのある き起こしていた(187 たびたび市街地大火を引 ンフレーム工法という木 拓時代から住宅はバルー 材が豊富だったため、開 | 造だったが、火災に弱く 練した建築技術者が不要 である。アメリカでは木 ったため、やがてカナダ 2×4工法を用いた場 | かったのではないか、と で工期が早く安価ででき 内装の防火性能を高めて が吹き付けたら、いくら そこに、今回の大火のよ っている可能性がある。 | 外装材も屋根も木製で防 きい富裕層の豪邸ほど、 ものなら、隣棟間隔の大 | 口部の防耐火性能を高め | 地域は、指定された地域 | 棟距離が大きいと外装は ることによって防ぐ。屋 火措置のない広い窓をと 建築規制が上記のような 燃規制は大きく違う。 いるとも言えるが屋根不 木造でもよい。 根の不燃化は不要で、隣 びその防火措置を規制す いても、ひとたまりもな この点、日本の準防火 現在のロサンゼルスの